

登録コード	E2914400	開講年度	2026		
授業科目	英語文学特殊演習				担当教員 金子 史彦
英文授業名	Advanced Seminar in English Literature 2				副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・6時限
講義室	教育N 2 2 9	授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考					
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・英語文学を学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・英語文学を理論的・多面的に理解できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	学生が自分で一つないし複数の作品を選び、それを批評理論を用いて解釈していく。教員がそれを手助けする。				
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：作品を選ぶ 第 3 回：作品の概要を掴む 第 4 回：切り口を考える 第 5 回：適する批評理論を選ぶ 第 6 回：導入部を考える 第 7 回：メインピックを考える 第 8 回：テキスト内の根拠とは 第 9 回：テキスト内の根拠を探す 第10回：テキスト外の根拠とは 第11回：テキスト外の根拠を探す 第12回：予想される反論を考える 第13回：結論を考える 第14回：解釈の読み合わせ 最後の 1 5 分間で授業アンケートを実施する 教育実習による欠席分については補講を行う。				
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・文学理論を活用した読みが出来ようになったか、自身の発表、他人の発表へのコメントを総合して判定する。 100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	各文学理論がよく活用出来ている『卓越している』、活用出来ている『かなり上にある』、一応活用出来ている『やや上にある』、活用しようとする努力が見られる『水準にある』。				
(8)事前事後学習の内容	毎回、次回の予習を指示する。 この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。				
(9)履修上の注意	対面授業。 英語文学を深く研究したい学生を対象とした授業である。				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	N229, 内線4193, E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp, オフィスアワー木曜日3限、4限、その他予約で対応				
【教科書】	適宜プリントを配布				
【参考文献】	指定しない				